

## 昭和58年度定例会発表要旨

昭和58年

■ 6月29日

研究発表

ニューイングランドの墓碑銘をたずねて

齋藤 襄 治

(英文学科教授)

アメリカのニューイングランドに住みついた初期の人人の死に対する考え方をうかがう恰好の材料として、各地に残る墓に記された墓碑銘があるが、私は1963年、1971～72年に同地方の代表的な墓地および特殊な地域の墓地をおとずれて採集した墓碑銘を整理、分類して、ニューイングランドの人々の精神の辿った跡をふりかえって見、ギリシア、ラテンの墓碑銘、さらにヨーロッパ諸国のそれとの対比に於て、アメリカの清教徒の歴史に新しい光を当てようと試みた。かつての思想的指導者であるコトン・マザーの世界観より、捕鯨時代、独立戦争時代のアメリカの諸事情を語る墓碑銘——中には判読のきわめて困難なものもあったが——の解説、解釈につとめた。

■ 10月26日

研究発表

現代観音説話考

——わが心のスターシア——

沼 義 昭

(社会学科教授)

少しく以前になるが、昭和52年、53年に日本全国の少年たちは、宇宙戦艦ヤマトのアニメ映画に湧きかえった。動員された少年たちの数は、数百万人に上ったという。これはもう、一つの社会的事件であった。何がかくも多数の子供たちの心をひきつけたのであろうか。原作者松本零士の力量は、いうまでもない。彼の創作した人物像の系譜を探ることも、一つの興味ある課題であろう。しかし、そのみでは、ヤマトの一連の作品の成功を説明しきれないと思う。そこには、C.G.ユングの言葉を借りるならば、原型的な神話の世界が展開されているのだ。それは、古代からくり返しくり返し物語られてきた、青年の冒険譚なのである。そして妖しくも美しいスターシアとは？

## 昭和58年度特別講演会要旨

■ 11月30日

アジアにかかわって

伊 瀬 仙 太 郎

(史学科教授)

- 1, アジアへの目覚め…大正期の朝鮮人労働者雇傭、昭和7年の満鮮旅行
- 2, 卒業論文のテーマ…昭和14年の中国旅行、卒論テーマの模索
- 3, 『西域経営史の研究』発行…本書著作と『世界文化交流史』
- 4, 学位論文作成…中国民族と周辺民族との接触交流

- 5, 教育と研究…大学の使命と現実、『わが国の義務教育における教育方法の歴史的研究』
- 6, 歴史教育・学会活動…『歴史教育』の編集、文部省の社会科学習指導要領改定委員、日本歴史学協会委員
- 7, 今後の研究課題…アジア諸民族の文化変容に関する基礎的研究、わが国歴史教育の在り方に関する研究

さまざまなナチス論について

村 瀬 興 雄

(史学科教授)

拙著「ナチス統治下の民衆生活」に対する批判の第一